

コンテンツ・マネジメント分科会セッション

◆ 史上最悪を更新する海賊版サイト被害の実相 ◆

【講演者】

林 いづみ 氏

弁護士 元名古屋地方検察庁検事 桜坂法律事務所設立 パートナー
内閣官房 知的財産戦略本部員 他

<http://www.sakurazakalaw.tokyo/lawyers/lawyer02.php>

マイケル・シュレシンジャー 氏

米国 バージニア州、コロンビア特別区 弁護士
モーション・ピクチャー・アソシエーション (MPA)
アジア太平洋地域ヴァイス・プレジデント
兼リージョンナル・リーガルカウンセル

元 International Intellectual Property Alliance (IIPA) /
国際知的財産権同盟 主任弁護士

村上 裕之 氏

モーション・ピクチャー・アソシエーション (MPA) 日本オフィス
日本国際映画著作権協会 シニア・ディレクター

【概要】

毎年 MPA が電気通信大学の認定ベンチャー企業、株式会社 Photonic System Solutions (PSS) に委託している海賊版サイトアクセス調査・調査結果を参考に、村上裕之氏を招致し、海賊版被害の現状を周知すると共に知財学会の会員各位と問題意識を共有する。また、この問題に詳しい弁護士の林いづみ氏およびMPAのマイケル・シュレシンジャー氏を招致し最新の国内および海外情勢についてサイト・ブロッキングの現状を中心にご解説いただく。

コンテンツ・マネジメント分科会セッション

◆ 史上最悪を更新する海賊版サイト被害の実相 ◆

◆挨拶 本分科会担当理事 久保雅一 (株式会社小学館 取締役)

◆林 いづみ 氏 弁護士 報告の概要

タイトル: DX 時代に対応した権利保護と対価還元 ~ドイツの海賊版サイト・ブロッキングの進展~)

DX 時代に対応した権利保護・対価還元には、まず、権利侵害が明白かつ被害甚大な海賊版サイト・ブロッキングの導入が必要である。我が国独自の憲法論が提起され、工程表では先送りされたままだが、新型コロナ禍の中で被害はさらに増大しており、より効果的な対策が喫緊の課題である。今年ドイツで、ISP と権利者によって設立された自主規制の独立団体 (CUII) の取組みなども参考に、具体的な制度設計に向けた議論を始めるべき時期ではないかと考える。

◆マイケル・シュレシンジャー 氏 米国 弁護士 報告の概要

タイトル: “Status of Site Blocking” 「サイト・ブロッキングの現状」

全世界では、多くの国において違法サイトに対する有効な対抗手段の一つとしてサイト・ブロッキングが採用されている。

サイト・ブロッキングに法制に関して世界的な第一人者である報告者より「世界のサイト・ブロッキングの現状」とその効果について報告する。

◆村上 裕之 氏 報告の概要

タイトル: 「インターネット上の海賊版サイト分析 2021」

2021 年 4 月 1 日 ~2021 年 9 月 30 日の間に、国内外を問わず、映画 (Film) TV 番組 (TV) アニメ (Anime) マンガ (Manga) の 4 種類の海賊版コンテンツを扱っているサイトを調査対象としそれらの特性の定量化及び経時的な変化について調査したものである。

- ① 最近の日本における映画、TV、アニメ、マンガなどを扱う海賊版サイトの定量化
- ② 日本で利用されている海賊版サイトの直近 2 年間の経時変化の調査
- ③ 海賊版サイトによる権利侵害の現状と対策の検討等を行うことにより、コロナ渦での Web 海賊版被害の現状を明らかにする。

以上